

## 第1回向日市民温水プールあり方検討会議 会議録

日 時 令和5年7月11日（火） 午後3時30分から午後5時まで

場 所 向日市役所本館3階 第7会議室

出席者 (委員)  
松永委員、木村委員、藤田委員、大川委員、梅田委員、高橋委員  
黒木委員、近藤委員、長谷川委員、山本委員

(事務局)  
山田市民サービス部長、安田市民サービス部副部長、田口地域福祉課長、  
大山同課主任

傍聴者 5人

---

### 1 開会

### 2 委員の紹介

### 3 議事

#### (1) 会長の選任

下記のとおり、決定した。  
会長 松永 敬子 委員

#### (2) 副会長の選任

下記のとおり、決定した。  
副会長 木村 作彦 委員

#### (3) 会議の公開について

会議の公開及び会議録の公表等について、原則公開する旨が説明され、特に意見等もなく了承された。

#### (4) 市民温水プールの概要と向日市の現状について

事務局 | (資料に基づき、事務局より説明)

会 長 | ここまでの内容で、ご質問があれば伺いたい。

委員	一般市民として、民生費がかなり増えていると感じるが、教育費が減っていることに納得がいかない。子どもたちの人数が減って教育費が減少したのか。どういう変化があるのか教えていただきたい。
事務局	当時は教育費に、プールの建設事業費が含まれていたため、金額が高くなっており、教育費が削減されている訳ではない。
会長	平成6年度に大きな支出があったということで、教育費の支出をパーセンテージ的に削減している訳ではないという理解でいいですね。
委員	アンケート結果で、「利用したことがない」という方が約44%で、利用実態でも、約73%の方が「市民以外の方」ということですが、例えば、市民利用を促進するためにどういったことをされたのか。
事務局	利用実態の数字は、都度、利用料金を支払うプール利用者の数であるが、プールを利用する市民向けに、何か特別に実施していることはなかった。市民向けの利用向上策などを講じることも検討すべきであったので、今後の検討課題とさせていただきたい。
会長	8ページのデータは、あくまでプールの都度利用の実態ということであるが、インパクトは大きい。

#### (5) 市民温水プールに対する考えについて

会長	今日は、初めての会議ということで、委員の皆さまには、様々な角度から、ご意見、お考えを伺いたい。 出た意見に対して、考えが違うことや、賛成、反対などお考えは色々あると思うが、今日は、意見を戦わせるという場ではなく、それぞれの方が、ご自身の意見を発言いただく場としたい。ご発言に対して、相反する意見を言うというのではなく、裏を返せば、誰からも否定をされないので、ご意見、お考えを自由に発言いただきたい。
委員	プールを利用したこともあるが、今後どうするかということになると、資料3の7ページと8ページで、市民の利用割合が26.7%、市民以外が73.3%ということを見ると、市の厳しい財政の中から、そこにしっかりとつぎ込むことはどうなのかと思う。

委員 この場所は、東院跡もあり、半分が公園となっている。そこを活かしつつ、存続してもらえるとありがたい。規模を縮小するか、空調設備に主な費用が掛かると思うが、その辺を考慮して存続いただければ良いと思う。

会長 16 ページで、このエリア付近でも様々な事業が進んでいる。今日初めてご存じになった方や、大体ご存じだった方もいると思うが、地図を見ると、かなりの開発が数年に渡ってあることが分かる。施設を存続するにも、その開発の見通しも持ちながら考えなければならない。

委員 今、会長がおっしゃった 16 ページに記載のある「鶏冠井・上植野東部地区まちづくり協議会」についてだが、協議会は昨年夏に発足し、その後、正式に認定を受けている。そして、地権者に対して、アンケート調査を実施しており、第 2 回目のアンケート調査を現在実施しているところであることを申し添えさせていただく。

会長 地権者さんのお考えがどういうものなのかによっても、このエリアの状況もかなり変わってくる。直接、プールの件に、その結果を反映させる訳ではないが、次回の会議の際に、提供できるようであれば、参考程度に事務局から提供いただきたい。

委員 この地区の件についてだが、会社や、公園、福祉施設なども含めて、総合的な開発というものを考えている。このため、その隣接地に関して、とんでもない施設を作ることになると、そのまちづくりと整合性がとれなくなるので、そういった状況もある程度見ながら、考えた方が良いのではないか。

会長 このまちづくり協議会の状況が、どこまで影響するかはまだ分からないが、無関係ではないというのは、皆さん理解されたと思う。そうした状況も考えながら、進めていきたいと思う。

委員 市民温水プールの件については、三分割ぐらいに議論を分けて考えてほしい。

向日市に、この市民の数で市民温水プールがいるのかどうかという話と、今のところを建て替えるのかは、全然違う話になってくる。そこまで費用を掛けて作るのか、作り直すのかという前に、この財政規模で、温水プールが果たしているのかという議論にも波及してくると思う。

市民温水プール以外にも、市内には民間のプールがあり、そういうところと、行政がともに歩む姿勢をとるということも検討し、それでも市民温水プールが必要なのかを考えるべき。

それでも必要ということであれば、消防や商工会も、向日市、長岡京市、大山崎町の乙訓2市1町で一つになっているので、乙訓という形で検討するのも一つだと思う。

他にも、京都市という大きな都市に隣接しているので、その施設を少しの費用で向日市に使わせてもらうような交渉ができるかどうか。あらゆる方向を考えて、温水プールが鶏冠井町にいるのかどうか。

先日、新聞で競輪場の活用方法が5年間で策定されると出ていたが、もし、競輪場の整備がアリーナになるということで、伏見港のプールように体育館とプールが併設された施設になるのであれば、そのあたりも考えなければならない。

また、こうした検討の場に大学生が入ることも大事で、考えがすごく新鮮で、学生が使うことで利用する年齢層も下がるので、そういうことも含めて、議論できればと思う。

会 長

市が丸々、公共スポーツ施設を運営するという時代ではなくなっている。多くは、指定管理制度やPFIのような市の財政負担があまりないような形で運営しており、作ったからといって、丸々市に財政負担が掛かるということでもない。三分割という話があったが、管理運営の方法などに、どんな仕組みやパターンがあるのか、他の自治体の事例を参考にして、議論していきたいと思う。

委 員

プールから外れてしまうが、向日市にはテニスコートやサッカーコートがなく、スポーツが好きな人間としては、寂しい思いをしている。アンケートで約半数の方が存続を望まれているので、プールの再開は望むが、民間のプールがあるので、前と同じようなものではなく、費用的なことも考えて、学校の水泳授業で使う方法も一つだと思う。

プールがあって、テニスコートがあって、よく言えばグラウンドもあって、大学生も使ってもらえるような、人の出入りのある総合的なスポーツエリアにしてもらうのが理想かと思う。

会 長

市内の小、中学校のプールがある、ないというのがある中で、そのプールを今後、各学校で改修するのか、市民温水プールで一括して水泳授業をするのか、などもかなり影響するところだと思う。

また、民間プールが商圈何キロ圏内にどのくらいあるのか、値段はどうかという周辺情報も次回の会議でご提示いただきたい。

委員

施設が開館した当時、プールの管理運営に携わっていた。  
途中、管理運営は他に移ったが、本当にいい施設で子どもから大人まで多くの人が利用していた。最近でも年に数人だが、体育館や健康増進センターの窓口にも「プールは営業しているか」と、問い合わせがある。

委員

以前、プールでアルバイトをしていた。当時の状況は、ものすごく来られる方は毎日来られるが、時間帯別の利用状況では、朝から来られる方の顔ぶれはいつも同じ。子どもたちが来るかということ、学校があり、昼は来ないので、昼間の利用者はすごく少ない。夜になると、おそらく水泳部の人だろうなという人たちが本気で泳ぎに来て、その顔ぶれもいつも同じ。他には、健康のために歩きに来ているという近所の方が、利用しているという印象であった。

今回のアンケート結果では、5,000人を対象にしているが、回答が1,853件で、回答率の低さにも驚いた。実質、向日市民の中で、存続を願っている方は、本当に何人だろうと思った。

少子高齢化が今後進む中で、子どもを増やすためにも、子どもがいられる場所、子どもを連れていける場所にした方が良いのではないか。プールのあり方というよりかは、向日市に子どもを呼ぶために、あのプールの場所をどうするかというのを考えたほうが良いのではないか。

会長

アンケートの回答率ですが、自治体を実施するアンケートは大体このぐらいの回答率になることが多い。30%~40%ということが多く、50%にいく調査はほとんどないのが現状なので、特に関心がないという訳ではない。

ただ、アンケートに答えてくださる方が、プールに近くのエリアに住む人が多いと、存続希望している人が多くなっているというように影響されている可能性があるのも、もし可能であれば、事務局でお調べいただきたい。

事務局

本日は資料を用意していないため、確認しておく。

委員

私は、5年ほど前向日市に引っ越してきたが、利用料金がとてつもなく安いということを知り、週1回ほど施設を利用していた。

本当に素晴らしい施設がある向日市ってすごいと感じていて、高齢者の方や中年層の方、お子さん同士も、幅広い年齢の方がコミュニケーションをとれる、本当にいい施設だと思っていた。

難しい状況も聞いて、一言では言いにくいですが、何らか存続できる、次世代に負の遺産とならないような、財政的に成り立つ形で存

続がもしできるのであれば、いいのではかい。

どこまで現実的か分からないが、先ほどの2市1町や近隣の行政との共同利用、学校の部活や水泳授業なども検討すべき。

競輪場の件は、私も新聞で拝見したが、アリーナがどうなるか分からないものの、府の運営する施設に、プールをしてもらえるのであれば、そちらでプールを利用する選択肢もあるのかと思う。

会 長

府立の伏見港が近いがそちらも古いので、もし、万が一プールができるのであれば、向日市に作らなくてもよいという話になる可能性はある。ただ、先の話というところで、情報、様子を見ながら、新しい情報を順次公開できるものは、事務局から情報提供いただきたい。

委 員

私は、開館当初から利用しているが、休館してからは京都市のアクアリーナまで、週1回通っている。

この施設は、皆さんの健康増進のためにできた施設なので絶対に存続してほしい。

私も子どもを連れて行き、たくさん遊ばせてもらったが、近隣の民間施設は会費を払わなければならないなど、気軽にいけるものではない。

休館することは寝耳に水だったが、休館する前に市民や利用者の声を聴いてもらったのか。色々問題があって休館することは、一定理解するが、市民や利用者の方が一生懸命署名活動をしているのを見て、市民公募に応募した。

また、存続をいろんな形で考えながら、太陽光発電でお湯を作ることや緑化といった、環境のことも考えながら、緑もあり、スポーツもできる環境を守れるスペースとして、存続させてほしいと思う。

会 長

休館する時の質問があったが、事務局から何かあるか。

事務局

休館する時に市民のお声を聞いてどうするかというのを、例えば今回の市民アンケートのような形ができた訳ではない。しかし、施設の老朽化や安全面、加えてコロナも大きく影響しており、今後のことを考えて、一度立ち止まるという判断をさせてもらった。

委 員

利用料金も安価で助かってはいたが、例えば駐車場代など取るものは取って、市民にも、利用者にもお願いしますっていう姿勢も持ちながら、市民も絶対使いたいからそこは負担しますよという、折り合いのつけるところを探るべきだったのではないかと思う。

会 長

指定管理をするときは、駐車場は重要になってくる。建設当時とは違い、いろいろやり方があると思うので、そういったところも、もし、プールをつくるということになれば、いろんなやり方がまた議論されるのではないか。

委 員

私も非常に安い料金で利用させてもらっていたので、私も存続を望むところだが、向日市の現状など、本日の説明をお伺いして驚いている。

これからの未来を担っていく子どもたちに対して、大人たちが責任を持って残していける、誇れるものがあるってほしいなという思いが、まず一点ある。

それと向日市は、他の行政と比べてみて、誇れる公園がないのが、一番問題に思っている。防災のことが重要といわれているが、実際に地震があった場合、逃げられる場所が確保できているのか。

防災の面も考えてもらい、公園など負担のないもので、本当に意義のあるものを未来の子どもたちに、残していただければと思う。

会 長

一通り、皆さんに意見お聞きしたが、どちらかに多くの委員の方が寄っているということではなく、いろんなバックボーンをお持ちの方がお集まりいただいたのかなと改めて確認することができた。

皆さんの想いの根底に、財政を圧迫してまで、何がなんでもプールという考えの方は、おそらくおられないと思う。

財政を圧迫しない形で、もちろんプールがあればいいというところは、別にあると思うがそういった手法があれば良いけれども、こういうものがあるのかということについては、また事務局から色々な自治体の取り組みを紹介いただけたらと思う。

あと、周辺の開発や、競輪場の件も含めて、エリア一体として考えた時に、発言のあった、府なのか、あるいは乙訓として考えていけるのか、向日市だけではない考え方あるのか、スポーツゾーンに公園を考えた時にプールが必要なのか、このエリアなのか、このエリア以外なのか。

学校のプールがどうなるかによっては、市に一つプールがやっぱり必要ということになるかもしれない。プールを学校が持つことの方が優先されるのか、市で一括してやる方が、教育的にもいいのか、そのあたりも含めて、子どもというところに、もっと目を向けていきたいという、お考えを皆さん明確に持っておられるので、そのあたりも含めながら、まだ判断するには、いろんな情報と選択肢が揃っていないので、次回の会議では、「他の自治体の取り組み」、皆さんがあまりご存じではない「民間が入ることによって、どれくらい市の財政が軽減されていくのかという事例」なども事務局からご紹介いただければと思う。

(6) その他

次回会議について、9月下旬頃を予定していることを報告。

4 閉会